

災害時に備えて災害対策車両等訓練を実施しました



庄内川・庄内川河川事務所は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

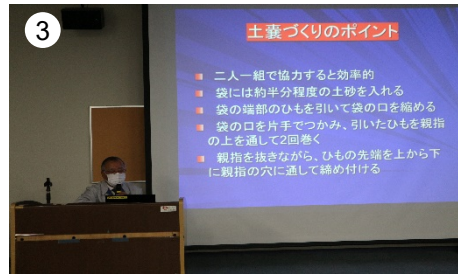


いのちとくらしをまもる
防災減災

国土交通省
SHONAGAWA RIVER OFFICE

12月7日（水）、当事務所と『災害又は事故における緊急的な応急対策の支援に関する協定書』を締結している（一社）庄内川災害対策協力会を対象に「令和4年度庄内川河川事務所災害対策車両等訓練」を実施しました。訓練では、みずとびあ庄内（清須市）で座学を行ったあと、会場を庄内川河口部中堤（右岸2.5km付近）に移し、実際の災害に近い地形での排水ポンプ車による実排水や、新規に導入予定である漏水監視カメラの円滑な設置等を実施しました。

座学



①②近年の災害に対する国土交通省の対応と、排水ポンプ車と照明車設置時の留意点について(庄内川河川事務所 竹原副所長)

③④土のう作成法及び現場で役立つロープワークについて(庄内川災害対策協力会 五十川災害対策委員長)

実地訓練



① 排水ポンプ車からロープやポンプを降ろして準備 ② 増水した災害現場を想定した庄内川に2組の排水ポンプとホースを設置

③ ポンプ車でポンプの排水操作を学ぶ参加者のみなさん ④ 庄内川から汲み上げた水が勢いよく反対側の新川に排水される様子



① ドラム缶を利用したコンパクトな漏水監視カメラについて説明 ②③ 漏水監視カメラの組み立て方を間近で学ぶ参加者のみなさん

④ 導入予定のこの漏水監視カメラは、約1時間で組み立てることができて赤外線での夜間撮影も可能なため、災害時での活躍が期待されています